

# Hirosaki Encounters



弘前れんが倉庫美術館

## りんご前線

弘前れんが倉庫美術館 2021年度 展覧会 [秋冬プログラム]  
Hirosaki Museum of Contemporary Art 2021 Exhibition (Autumn / Winter)

## 弘前 遭遇 -Hirosaki Encounters

小林エリカ 斎藤麗 佐野ぬい 塚本悦雄 村上善男 +ケリス・ウィン・エヴァンス

[Artists] KOBAYASHI Erika, SAITO Lei, SANO Nui, TSUKAMOTO Etsuo, MURAKAMI Yoshio + Cerith WYN EVANS

9月18日(土) 2021 — 2022 1月30日(日)

〔休館日〕火曜日 ※ただし11月23日(火・祝)は開館、翌11月24日(水)は休館  
12月26日(日)―1月1日(土・祝)は休館

〔開館時間〕9:00―17:00(入場は閉館の30分前まで)

Sat, September 18, 2021 — Sun, January 30, 2022

[www.hirosaki-moca.jp](http://www.hirosaki-moca.jp)

弘前れんが倉庫美術館 2021年度 展覧会 [秋冬プログラム]

# りんご前線 - Hiroasaki Encounters

9月18日(土) 2021 2022 1月30日(日)

(休館日) 火曜日 ※ただし11月23日(火・祝)は開館、翌11月24日(水)は休館  
12月26日(日) - 1月1日(土・祝)は休館  
(開館時間) 9:00 - 17:00 (入場は閉館の30分前まで)

参加アーティスト: Artists

小林エリカ、斎藤麗、佐野ぬい、塚本悦雄、村上善男 + ケリス・ウィン・エヴァンス  
KOBAYASHI Erika, SAITO Lei, SANO Nui, TSUKAMOTO Etsuo, MURAKAMI Yoshio Cerith WYN EVANS

空間構成: 蟻塚学 建築写真撮影: 柴田祥

## りんごのテロワール(土壌)・弘前—様々な出会いと遭遇の磁場

春夏プログラム「りんご宇宙」に続く第2部となる本展は、りんごのテロワール(土壌)としての「弘前」の地に注目し、弘前ゆかりのアーティストたちの作品や当地との出会いで生まれた作品などで構成されます。

「前線」は、異なる気団の境界・交線で起こる大きな気象の変化や、運動の第一線といった意味を持ちます。この言葉をキーワードに、当地との出会いや異なる世界との交差、家族の歴史を通じた自らのルーツの発見といった様々な遭遇や対峙・交流から生まれるエネルギーなどについて考えます。また、自然と人工、現実と空想、近代と現代、東洋と西洋、過去と現在といった関係から、改めて風土性や場の力に関する思索を促します。

本展では、イギリス出身のケリス・ウィン・エヴァンスが弘前でりんごに出会ったことから発想し、生み出した巨大なネオン彫刻を、春夏プログラムから継続して展示します。一方、新たに、弘前と様々な接点を持つ、世代も背景も大きく異なる5名のアーティストたちの絵画、彫刻、ドローイング、映像、インスタレーションなど多様な作品群を、美術館空間に合わせて展示・紹介します。また、毎回多角的なアプローチで地域性や創造的魅力を再考する「弘前エクステンション」では、これまで幅広い特集を通して津軽という地域を考察してきた雑誌『津軽学』の活動や、弘前の近代建築と街並みに光を当てます。

ゲスト・キュレーター 三木あき子

### 関連イベント

#### ● オープニングトーク 2021年9月18日(土) 14:00 - 16:00

本展キュレーターおよび参加アーティストらによるトークを開催します。\*事前予約制

#### ● 弘前エクステンション#04

当館では、弘前ゆかりのアーティスト、クリエイター、研究者らに注目し、異なる視点が見え・交換される場を生み出すことで、新たなアプローチで地域性の考察、創造的魅力の再発見に繋がることを目指す弘前エクステンションを年間を通して行います。本展と関連する弘前エクステンション#04では、雑誌『津軽学』の活動や弘前の近代建築、街並みに関連した展示などを予定しています。

#### ● 学芸スタッフによるギャラリーツアー 会期中毎週日曜 11:00 - 12:00

\*要観覧券 [プログラム詳細や申し込み方法は当館ウェブサイト等でご確認ください。]  
[日程及び内容が変更・中止になる場合があります。]

観覧料 [税込]: 一般 1,300円 (1,200円) 大学生・専門学校生 1,000円 (900円)

※( )内は20名様以上の団体料金

※以下の方は無料: 高校生以下の方、弘前市内の留学生の方、満65歳以上の弘前市民の方  
ひろさき多子家族応援バスポートをご持参の方、障がいのある方と付添の方1名

主催: 弘前れんが倉庫美術館

特別協賛: スターツコーポレーション株式会社、株式会社青南商事

協賛: 株式会社アップルコミュニケーションズ、株式会社ラグノオさきさき、株式会社NTTファミリーーズ、株式会社津軽りんご市場

後援: 東奥日報社、デーリー東北新聞社、陸奥新報社、青森放送、青森テレビ、青森朝日放送、NHK青森放送局、エフエム青森、FMアップルウェブ、弘前市教育委員会

### 弘前れんが倉庫美術館

〒036-8188 青森県弘前市吉野町2-1  
Tel: 0172-32-8950

Hirosaki Museum of Contemporary Art  
2-1 Yoshino-cho, Hirosaki City, Aomori, 036-8188 Japan  
Tel: +81-172-32-8950

www.hirosaki-moca.jp

### 交通アクセス

青森空港より  
-弘南バス(弘前バスターミナル行)約55分  
「弘前駅前」下車  
JR東北新幹線 新青森駅より  
-JR奥羽本線 約40分「弘前駅」下車  
JR弘前駅より  
-弘南バス・土手町循環100円バス 約8分  
「土手町十文字」下車、徒歩 約4分  
-徒歩 約20分  
-車 約7分  
From Aomori Airport: 60 minutes by car /  
take Konan Bus to "Hirosaki station"  
From JR Hirosaki Station: 20 minutes by walk /  
7 minutes by car / take Konan Bus to "Dotemachi  
Jumonji" and walk 4 minutes

Hirosaki Museum of Contemporary Art  
2021 Exhibition (Autumn / Winter)

Sat, September 18, 2021 — Sun, January 30, 2022

Closed: Tuesdays (except on Nov. 23, 2021)  
and from Dec. 26, 2021 to Jan. 1, 2022.

Opening hours: 9:00-17:00 (Last admission 30 minutes before closing)

Admission [tax included]

Adults 1,300yen (1,200yen)

University & College Students 1,000yen (900yen)

\* ( ) Price for a group over 20 people

Free of charge for high school students and under;  
international students in Hirosaki city;  
citizens of Hirosaki over 65,  
the disabled and one accompanying attendant



小林エリカ《誕生》2021年



斎藤麗《Cossocossomogonie》2021年  
Installation view at Palais Synodal, Musée de Sens,  
Sens, France



佐野ぬい《青の時間》2014年 青森県立美術館蔵 (弘前市市民会館ステンドグラス原画)



塚本悦雄《ツガルビューティー》  
2016年



村上善男《気象 1998.11.6 射影(西の窓)》1999年  
(弘前大学創立50周年記念会館) Photo: Shibata Sho



当館に駐車場はございません

お車の方は近隣の有料駐車場をご利用ください

●提携駐車場: 運転手と同乗者1名様に限り、団体料金がかかります  
土手町駐車場・アウトエア弘前・したとてスカイパーク・三井のリパーク弘前桶屋町・三井のリパーク弘前桶屋町第2

弘前れんが倉庫美術館